

新年御挨拶

産業廃棄物の不法処理防止を 循環型社会の構築めざす

新年あけましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。平素から皆様方には、当協会の事業運営に格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

当協会は、公益法人改革に伴い、昨年4月1日に、一般社団法人として新しくスタートしました。今年には以前に増して協会事業を充実させ、社会的使命を果たしていく覚悟です。でよろしくお願ひ申し上げます。

改正産業廃棄物処理法の施行に伴い優良事業者認定制度の普及、電子マニフェストの推進をはじめ、産廃の不法処理防止事業、産廃処理研修事業などを通じて産廃の適正処理に会員一丸となって取り組みを進めます。



一般社団法人
三重県産業廃棄物協会
会長 木村 亮一

冬季の到来とともに鳥インフルエンザの発生が心配されていますが、当協会は鳥インフルエンザ発生に伴う廃棄物の処理に対応するため、県当局との間で応援協定を締結する方向で関係者と協議を進めております。

さて、今年はお伊勢さんのご遷宮が行われますが「第12回産業廃棄物と環境を考える全国大会」が11月8日に伊勢志摩で開催されますので、是非とも皆様には伊勢志摩へお越し頂きますようお願い申し上げます。

最近の激しい経済情勢を反映し、産業廃棄物の排出量は減少傾向であり低価格競争の渦中にもありますが、循環型社会の構築をめざして一層努めて参りますので、今年も皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

廃棄物の3R推進にご協力を 電子マニフェストの取り組みも

新年、明けましておめでとうございます。皆様健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。三重県産業廃棄物協会の皆様には、日頃から三重県の廃棄物行政にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本県では、「幸福実感日本一」をめざして昨年4月に「みえ県民ビジョン」を策定し、この中で廃棄物施策として、バイオマス系廃棄物も含めた廃棄物の3Rの推進、電子マニフェストや優良産廃処理業者の活用による処理責任の徹底などに重点的に取り組んでいくこととしています。

また、東日本大震災により生じた災害廃棄物の広域処理を進めるため、



三重県環境生活部
廃棄物対策局長
岡本 道和

昨年4月の市長会・町村会・県の三者合意に基づき県はガイドラインを作成するとともに、その後国から要請された岩手県久慈市の災害廃棄物についての各種広報活動等を行うなど、広域処理の安全性を県民の皆様にご理解頂けるよう取り組んできました。今後も被災地の早期復興に向け、一日も早く災害廃棄物の広域処理が進むよう一層の取り組みを行ってまいります。

貴協会の皆様におかれましても本県の廃棄物に関する取組にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、三重県産業廃棄物協会の益々のご発展と会員の皆様のご多幸を祈念して、年頭の挨拶といたします。

産業廃棄物処理実務者研修会を開催



平成24年10月4日（木）四日市商工会議所で、排出事業者及び処理業者を対象とした「産業廃棄物処理実務者研修会」を開催しました。産業廃棄物を処理する上で重要な委託契約、マニフェスト、帳簿等の実務に係る知識習得が目的です。

研修会には会員と近県から85名が出席し、公益社団法人全国産業廃棄物連合会専任講師の岩田隆氏、田尾利光氏の2名より、産業廃棄物処理の実務に必要な内容を解りやすくお話していただきました。受講者から有価と産廃がある場合の契約方法、保管積替えのメリット、デメリット、電子マニフェストの車両表示などの質問に丁寧に講師から回答していただきました。研修会終了後は、受講者へ終了証を交付しました。

産業廃棄物処理初任者研修会を開催

廃棄物処理法を理解し、産業廃棄物処理の基礎的な知識を身につけ、適正に業務を進めるため、今年度も入社後1～5年程度の初任者を対象とした産業廃棄物処理初任者研修会を平成24年10月17日（水）に開催しました。

研修会には57名が出席し、公益社団法人全国産業廃棄物連合会専任講師の田尾利光氏から産業廃棄物処理の基礎知識について解りやすく説明していただき、参加者の方は熱心に講義に取り組んでいました。



電子マニフェスト操作体験研修会



電子マニフェストの普及促進を目的に、三重県主催、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター、当協会インストラクターによる電子マニフェスト操作体験研修会を7月から12月まで20回、開催しました。実際にパソコンを使用し、排出事業者、中間処理業者、処分業者の操作方法について体験しました。

来年度もこの研修会を開催予定しておりますので、これから電子マニフェスト導入を検討している事業所さんは是非ご参加下さい。